「腹腔動脈狭窄に伴う膵十二指腸動脈瘤4例の検討」について

加古川中央市民病院外科では、現在、入院および外来通院患者さんのうち腹腔動脈狭窄に伴う膵十二指腸動脈瘤の患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

[研究概要及び利用目的]

腹腔動脈狭窄に伴う膵十二指腸動脈瘤は時として偶発的に画像検査で指摘されることがあります。その治療方針に関しては決まったものがなく、状況に合わせて最善と思われる治療を行っているという現状があります。血管内治療のほか、手術による狭窄部の血管バイパス術を行うこともありますが、どのような状況でどの治療を選択すべきかは明らかでなく、今回特に血管バイパス術に関して、その適応を検討いたします。

腹腔動脈狭窄による膵十二指腸動脈瘤を有する患者さんを対象とし、過去に行われた画像検査や治療について情報を集めます。

[研究期間]

研究期間：西暦 2022年1月1日～　2023年３月31 日

[取り扱うデータおよび試料・情報の項目]

2015年1月1日から2022年3月31日の間に加古川中央市民病院外科において腹腔動脈狭窄に対して血行再建の治療を受けられた方の診療録より下記の情報を取得いたします。

基本情報：年齢、性別、身長、体重

治療データ：治療前及び治療後の CT 画像、

[個人情報保護の方法]

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することがすることができないよう、対応表を作成して加古川中央市民病院の３階医局の鍵のかかる保管庫で管理します。収集された試料や情報は、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため不利益になるようなことは特にありません。

[登録終了後の試料・情報の取り扱いについて]

本研究において取得した試料や情報等は、研究期間中は古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から５年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から３年を経過したいず

れか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、その方に関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

研究への試料や情報の提供の取りやめはいつでも可能です。患者様のデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降患者様のデータを本研究に用いることはありません。しかし、取りやめを受けた時点ですでに研究成果が論文などで公表されている場合には廃棄できません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院　消化器外科
研究責任者名　金田　邦彦
連絡先：079-451-5500